



「第 15 回科学の甲子園全国大会」出場校が決定 ～全国 47 都道府県の代表校の高校生が集い、科学の力を競う 21 の企業・団体が次世代の科学技術系人材育成を支援～

JST（理事長 橋本 和仁）は、科学好きの裾野を広げるとともに、次世代の科学技術・イノベーションの創出を担う優れた人材の育成を目的として、全国の高校生が学校対抗で科学の力を競う「第 15 回科学の甲子園全国大会」を、2026 年 3 月 20 日（金・祝）から 3 月 23 日（月）までつくば国際会議場およびつくばカピオで開催します。このたび、出場する全都道府県の代表校が決定しました。

各都道府県における代表選考には、697 校から 7,892 人のエントリーがありました。選抜された 47 の代表校は、1、2 年生の 6~8 人から成るチームで科学に関する知識とその活用能力を駆使し、さまざまな課題に挑戦して総合点を競い、栄冠を目指します。

本大会は、産学官が一体となった新たな科学技術系人材育成モデルとして、グローバル社会で主体的かつ創造的に問題を解決する人材の育成を推進します。この趣旨に賛同した 21 の企業・団体が、協賛または応援機関として支援することが決定しています。

JST では、発達段階に応じて児童・生徒の才能を伸ばせるよう体系的な人材育成に取り組んでいます。「科学の甲子園全国大会」を始めとする事業の実施を通じて、科学好きの裾野を広げ、児童・生徒が才能を十分に発揮し、切磋琢磨する機会を提供していきます。

大会の概要や出場校、観覧などの詳細は、別紙および以下ウェブサイトを参照してください。

日 程：2026 年 3 月 20 日（金・祝）～23 日（月）

場 所：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

つくばカピオ（茨城県つくば市竹園 1-10-1）

U R L：<https://koushien.jst.go.jp/koushien/>

＜添付資料＞

別紙 1：「第 15 回科学の甲子園全国大会」都道府県代表校一覧

別紙 2：「第 15 回科学の甲子園全国大会」協働パートナー一覧

参 考：「第 15 回科学の甲子園全国大会」開催概要

＜科学を支え、未来へつなぐ＞

例えば、世界的な気候変動、エネルギー・資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JST は、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JST は荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へつなぎます。

JST は、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

「第 15 回科学の甲子園全国大会」都道府県代表校一覧

都道府県	学校名
北海道	北海道札幌南高等学校
青森県	青森県立八戸高等学校
岩手県	岩手県立大船渡高等学校
宮城県	宮城県仙台二華高等学校
秋田県	秋田県立秋田高等学校
山形県	山形県立山形東高等学校
福島県	福島県立福島高等学校
茨城県	茨城県立土浦第一高等学校
栃木県	栃木県立石橋高等学校
群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
埼玉県	埼玉県立川越高等学校
千葉県	千葉県立東葛飾高等学校
東京都	東京都立日比谷高等学校
神奈川県	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
新潟県	新潟県立新潟高等学校
富山県	富山県立高岡高等学校
石川県	石川県立金沢泉丘高等学校
福井県	福井県立高志高等学校
山梨県	山梨県立吉田高等学校
長野県	長野県松本深志高等学校
岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校
静岡県	静岡県立浜松北高等学校
愛知県	東海高等学校
三重県	鈴鹿中等教育学校
滋賀県	滋賀県立膳所高等学校
京都府	京都市立堀川高等学校
大阪府	大阪星光学院高等学校
兵庫県	白陵高等学校
奈良県	東大寺学園高等学校
和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校
鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校
島根県	島根県立松江北高等学校

都道府県	学校名
岡山県	岡山県立岡山朝日高等学校
広島県	広島学院高等学校
山口県	山口県立徳山高等学校
徳島県	徳島県立城ノ内中等教育学校
香川県	香川県立高松高等学校
愛媛県	愛光高等学校
高知県	高知県立中村高等学校
福岡県	久留米大学附設高等学校
佐賀県	早稲田佐賀高等学校
長崎県	長崎県立長崎西高等学校
熊本県	熊本県立熊本高等学校
大分県	大分県立大分上野丘高等学校
宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校
鹿児島県	ラ・サール高等学校
沖縄県	沖縄県立開邦高等学校

「第 15 回科学の甲子園全国大会」協働パートナー一覧

(五十音順・予定を含む)

No.	協賛企業・団体
1	旭化成株式会社
2	ETS Japan
3	株式会社内田洋行
4	株式会社学研ホールディングス
5	ケニス株式会社
6	株式会社ジー・サーチ
7	株式会社島津製作所／株式会社島津理化
8	スカパーJSAT 株式会社
9	スリーエム ジャパン株式会社
10	帝人株式会社
11	テクノプロ・グループ
12	東京エレクトロン株式会社
13	トヨタ自動車株式会社
14	株式会社ナリカ
15	公益財団法人日本科学協会
16	公益社団法人日本理科教育振興協会
17	UBE 三菱セメント株式会社
18	株式会社リソー教育グループ

No.	応援企業・団体
1	サントリーホールディングス株式会社
2	公益財団法人日本発明振興協会

「第 15 回科学の甲子園全国大会」開催概要

1. 目的

第 15 回科学の甲子園全国大会（以下、「全国大会」という。）は、国立、公立、私立の高等学校、中等教育学校後期課程および高等専門学校の生徒らを対象とした科学技術・数学・情報などにおける複数分野の競技を開催することにより、全国の科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的とします。

2. 実施・協力体制

- (1) 主催 科学技術振興機構（JST）
- (2) 共催 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、高等学校文化連盟 全国自然科学専門部
- (3) 後援 文部科学省、公益社団法人日本理科教育振興協会
- (4) 協力 都道府県教育委員会および協働パートナー

3. 開催日程

- (1) 2026 年 3 月 20 日（金・祝）～23 日（月）

- (2) 大会の日程は以下の通り

3 月 20 日（金・祝）	開会式、オリエンテーション、筆記競技
3 月 21 日（土）	実技競技
3 月 22 日（日）	エクスカーション、表彰式、協働パートナーなどによるブース展示、フェアウェルパーティー
3 月 23 日（月）	解散

4. 場所

つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

つくばカピオ（茨城県つくば市竹園 1-10-1）

5. 出場チーム

- (1) 全国大会出場チームは、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に定める高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程（以下、「高等学校など」という。）に所属する生徒で構成します。なお、構成員は高等学校などでの通算在籍が過去の在籍も含め 2 年未満の生徒とします。
- (2) 全国大会出場チームの員数は 6 人以上 8 人以内とします。
- (3) 全国大会出場チームは 1 校単位で編成します。
- (4) 全国大会出場チームは、1 都道府県 1 チームとし、全ての都道府県から出場するものとします。
- (5) 各都道府県教育委員会は全国大会出場チームを選考します。その実施方法は各都道府県教育委員会の定めるところによります。

6. 競技の種類

全国大会では、筆記競技と実技競技を行います。

(1) 筆記競技

理科、数学、情報の中から、習得した知識を基にその活用について問う問題で、教科・科目の枠を超えた融合的な問題も出題されることがあります。

(2) 実技競技

理科、数学、情報に関わる実験、実習、考察など、科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力やコミュニケーション能力などにより課題を解決する力を競います。

7. 競技の形式

筆記競技、実技競技共に、各出場校は競技ごとに定められた人数で競技チームを構成し、当該競技チームが問題などを分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競います。競技者数および競技時間は以下の通りです。

種 目	競技者数	競技時間
筆記競技	6 人	120 分
実技競技①（地学分野）	3 人	100 分
実技競技②（化学分野）	4 人	100 分
実技競技③（総合）	4 人	160 分

8. 表彰など

- (1) 主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定します。
- (2) 優勝チームには、文部科学大臣賞を授与するとともに、米国で開催されるサイエンスオリンピアドへ派遣します。
- (3) 総合成績第2位のチームには、科学技術振興機構理事長賞を授与します。
- (4) 大会成績により、その他の表彰を授与します。
- (5) 大会成績上位の出場チーム名を公表します。出場チームの成績は当該出場チームおよび当該教育委員会に提供します。

以上